

収穫の秋



美川小学校の皆さんが学習畑の収穫をはじめました。春以来、熱心に育てたかいがあって、お父さん、お母さんたちに負けない立派な西瓜、トマト、メロンを収穫し

ましたが、今度は待ちに待ったトウモロコシの収穫に、皆さんは大張り切り。しかし、この伝統ある学習畑も、明春の学校統合で、これが最後の収穫となりました。

まぐべ

'79

332

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
●編集・町民課広報聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

9

農業者の考え方

アンケート

町および町農業委員会では、農業経営の問題点、生活環境の改善、農業後継者問題など、いわゆる「農業者の考え方」を把握するため「農業者意向調査」を実施しました。調査はアンケート

ト方式で八十九農事組合、九百八十九戸を対象におこない、うち七七・九%にあたる七百七十一戸から回答がありました。集計された主な内容は次の通りです。

現状

経営主は若齢化の傾向

▼専業と兼業―七八%が専業、一八%の方が兼業、回答がなかったのは八%。水田転作などによる余剰労力の増加によって兼業率が高まったとみられています。

▼経営面積―最も多いのは十～二十畝の三六%、次いで五～十畝の二二%。以下は二十～三十畝(二一%)、五畝未満(一一%)の順。五十畝以上は全体の一%でした。なお、昭和四十八年当時、一戸平均の耕地面積は十一・五畝でしたが、五十三年は一戸平均十四・一畝と増加しています。

▼乳牛頭数―十頭以下が最も多く二二%ですが、十頭から三十頭まで飼育している方が全体の五十三%を占め、飼育農家数の減少にたいし逆に一戸あたりの飼育頭数は増加しています。五十頭以上飼育している方は全体の九%。

▼農業所得―百万円未満から一千万円以上と、その中は相当開きがみられます。

しかし、三百万円から一千万円未満までの方は全体の五四%を占めており、これをもっと分類しますと三百万円から五百万円未

満が一九%、五百万円から一千万円未満が三五%となっています。

なお、一千万円以上と百万円未満の方は同数の九%。これら所得は、畑作で五六%、酪農二一%、野菜一三%、米四%の割合。

▼経営者の年齢と従事者数―四十歳から五十歳未満が最も多く三三%、五十歳から六十歳未満が二五%、三十歳から四十歳未満が二三%、六十歳以上一〇%、三十歳以下六%の順。農業経営の移譲によって経営主は若齢化の傾向にあるのが特徴。農業従事者数では二人の方が全体の五一%、三人は二四%、四人の場合は一二%ですが、一人と答えた方も七%ありました。

将来

六七%が農業を続ける

六七%の方が将来とも農業経営を続けると答えた反面、離農したいと考えている方は二八%。回答しなかった五%の方は、どうするか迷っているとみてよいでしょう。離農したいと答えた方の内訳は、自分の代だけで二二%、いずれ離農したい五年から五年位のうちに離農したいと考えている方は一%となっています。

離農したい方の理由で最も高い率を占めたのは後継者がいないための六三%。以下は、土地不足などの生産条件が悪いから一七%、農業の将来に不安があるため八%、健康上の理由から、負債が多くなるから、農業にむかないが、それぞれ同数の二%となっています。

将来とも農業を続ける方のうち、規模を拡大したい方は全体の七七%、拡大したくない方は八%、まだどちらともいえないと答えた方は一五%でした。増やしたい面積は五畝から十畝と答えた方は三七%、次いで十畝から二十畝の方が二六%、二十畝以上の農地を増やしたい方は一〇%となっています。

問題

やむを得ない機械化

今後の営農方式では畑作が最も多く三九%、次いで酪農一三%、畑作七%、稲作と酪農は六%、畑・野菜五%、野菜三%の順。機械化については、過剰投資であるが止むを得ないと答えた方が三六%、現在の投資が適当である二一%、もっと機械化を押し進める必要がある二〇%。過剰投資であると答えた方は一二%でした。

また、大型化する機械の導入では、共同方式で導入と答えた方は四八%、個人でという方は二五%となっています。ほ場の用地が三団地にわかれていている方は二五%、二団地の場合は一九%、四団地、五団地と分散している方は、何れも一七%。しかし、交換分合を積極的にこなさう気がないと考えた方は意外に多く三九%もあり、積極的にこなさない(三一%)

と考えている方を上回っています。これは、ほ場が分散しているものの、住宅からは場までの距離が比較的近距离(一キ未満四三%)にあるため、ほとんどが三キ以下となっています。

後継者

農協の合併

すでに後継者が決まっている方は三二%、まだ決っていない方は一八%。一二%の方は将来離農するので後継者は考えていないと答えています。このほか、どちらともいえないと答えた方は二五%も占めており、回答しなかった一三%とともに、農業経営者は後継者問題に苦勞しているようです。

一方、娘さんを嫁に出す場合、農家の後継者にと考えている方は二四%。一七%はサラリーマンに、二%が商工業にと答えています。なんら意志表示をしなかった方が五七%もいることは、考えさせられることといえましょう。

農協の合併問題では、反対の方は四一%賛成は一八%。反対、賛成の理由は次の通りです。

反対 ①大きくなると組合の運営もむづかしくなる(六六%) ②サービスが低下する(一六%)が主な理由。

賛成 ①幕別町の農業振興が一本化される(五一%) ②組合が安定し経済的な負担を少なくすることができる(三〇%) ③施設や事業の充実強化ができる(二三%)が主な理由。

しかし、合併にたいし関心のない方も多く、全体の四一%の方が、わからない、どうとも思わないと答えています。

個人所有トクター 初めて1000台を突破

農業従事者は33人の増

53年度農業基本調査の結果

農業の実態とより充実した農業行政の資料となる「農業基本調査」が去る二月一日現在で実施され、その結果が公表されました。この調査によりますと、五十二年度の調査に比べて農家戸数で十三戸少ない九百九十戸農業従事者は三十三人増の三千十人となりました。また、女性の農作業に従事する日数が減っていることもわかりました。

●農家戸数と農業従事者数

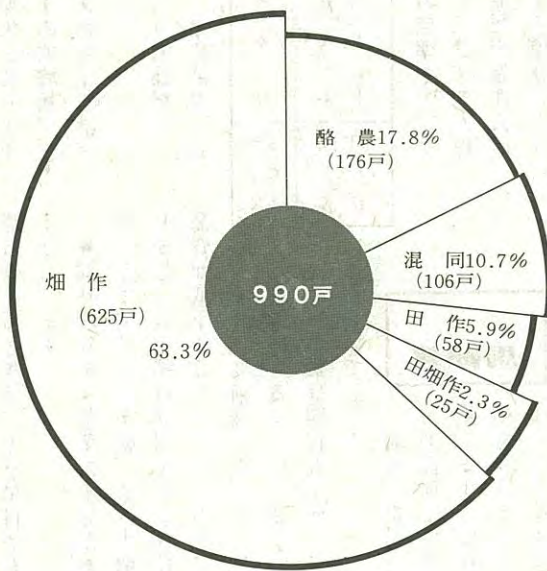
農家戸数は九百九十戸。これを専業別でみますと、専業農家は七百六十五戸と全体の七七%を占め、農業のかたわら他の仕事をしている人がいる(一種兼業)農家は百六十一戸で一六%、また農業以外の仕事につき片手間で農業に従事している(二種兼業)農家は六十四戸で全体の七%となっています。これを型態別でみますと図一のとおりです。

また、世帯人員は四千五百四十四人(一戸当り四・六人)ですが、このうち農業に従事している者は三千十人(一戸当り三・〇人)、百五十日以上農業に従事した者は二千四百十一人(一戸当り二・四人)となっています。これを男女別にみると図二のようになり機械化とともに女性の農作業に従事する日数が減ってきています。

●農用地と耕地

農用地の総面積は一万四千四百八十六・九五畝です。この内訳をみますと田が四百六十一・一二畝畑一万三千七百六十・四六畝、樹

園地〇・一畝、肥培管理をしない牧草地など二百六十五・二七畝となっています。この農用地のうち実際に作付した耕地面積は一万四



図一 型態別農家戸数

千七十一・五畝ありますが、田の場合には稲作の転換が大幅に行なわれたため五十二年度では二百六十四・八七畝に作付されたのが、五十三年度は百五十三・四三畝に減少しました。作物栽培面積では五十二年度調査と比べ大きな変化はありませんでした。

●家畜

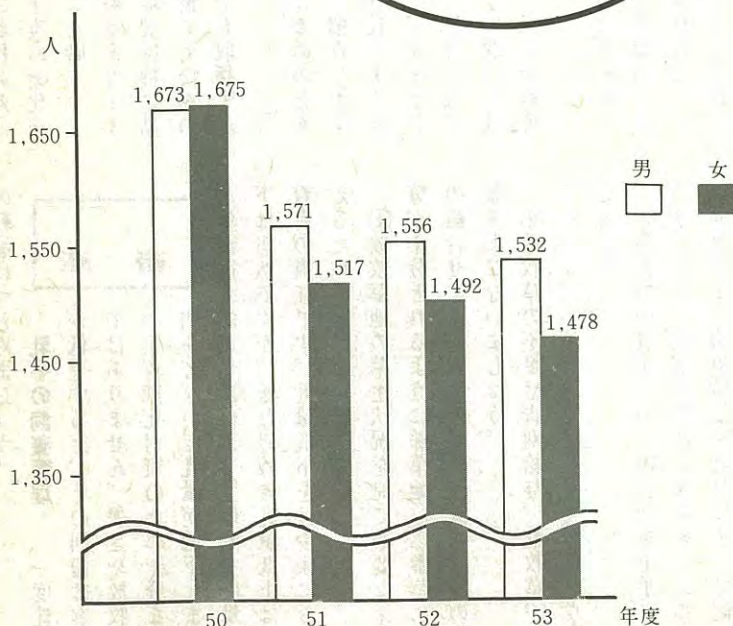
乳牛の一戸平均飼養頭数が五十二年より三頭多い二十五頭となり酪農業の大型化が進んでいます。また、肉牛は価格の不安定もあ

り五十二年より飼養農家戸数で九戸、飼養頭数で七十五頭減っています。

●農機具

五十三年度調査より新しくバルクローラーが調査されましたが、その結果、二百二十七戸の農家で導入していることがわかりました。また、個人所有トクターでは初めて千台を越え、農家一戸に平均一台のトクターが導入されていることになりました。

図二 男女別農作業従事者数



9月の農作業

秋播小麦 連作、過作に注意

秋の日ざしとともに畑作物や飼料作物の本格的な収穫時期となり忙しい日が続きます。健康に注意し、稔りある収穫にしたいものです。

■ 今月の主な農作業は先月に引き続いて豆類でん菜、馬鈴しよなどの病害虫防除と馬鈴しよ、大正金時の収穫、

それに九月中旬を中心とした秋播小麦の播種月未から十月上旬の初霜前には小豆、手亡の収穫、ニオ積みと続きます。

麦類

秋播小麦の前作として大正金時、馬鈴しよ、スイートコーンなどが作付されていますが、計画的に収穫をおこない、次の点に

注意して播種作業をおこなってください。
■ 秋播小麦は機械化が進み、作りやすことから作付偏重となり、連作や過作が多くなると病害虫の多発などによって思わぬ減収をまねくので、適正な輪作体系を組むようにすることが大切です。

■ 前作物の浅澤物をプラウでいねいにすき込み、デスクハローで整地して播種精度が落ちないようにします。種子は系統的

に明らかなものに更新してチューラム剤による粉衣消毒をして播種します。

■ 播種期は九月十日前後、おそくとも九月二十日までは終らせましょう。播種期がおくれると生育もおくれ、分けつが少なく養分の蓄積が低下して菌核病や冬枯れ率が多くなり、減収、瘠耕の原因となります。播種量は畦巾三十三センチ以下の密條播、またはドリル播きで十アールあたり十五ポグラム前後が標準です。

■ 施肥基準（十アールあたり密條播）

湿性地	七〇八	十四十五	九〇十	四〇五
乾燥地	八〇十	十六十八	十一十二	四〇五
	チツソ	リンサン	カリ	マグネ
	単位ポグラム			

この表はホロシリコムギの標準です。タケノコムギではチツソを一二ポグラム程度減肥します。特に前作の追肥や湿性火山灰の場合にはチツソ過剰による倒伏などが起きやすいので基肥を控えめにします。また地力の低いほ場では、リンサンや微量要素を増肥するとよいでしょう。

■ 今年（五十四年）収穫したタクネコムギの採種は産で十アールあたり六百ポグラム近い収量をあげている例もあり、決してホロシリコムギの収量に劣っていません。作付面積の三分の一程度はタクネコムギを作付しましょう。

豆類

■ 大豆のマメシンクイガは八月下旬を中心に防除しますが、防除の行き届いていないほ場で、バイジツト乳剤千倍液で防除しましょう。

■ 豆類の収穫ほ場は登熟状況をよく観察

して収穫します。小豆、菜豆の収穫適期は熟葉が七〇～八〇％に達し、子実の硬化がみられ品質固有の色沢を現わした時です。九月下旬になると降霜の現れがあります。小豆、菜豆（大手亡）の場合は特に品質が低下するので、収穫適期前でも降霜の恐れがあるときは、ヤヤ早目でも収穫するようにします。

■ 刈り取り後、茎葉の水分が多めるときは、しま立てなど予乾してニオ積みします。しかし、ニオ積み期間をあまり長くすると品質が低下することがあるので、子実水分が一六％前後になつたら早目に脱こくを終えるようにします。脱こく機の回転数は四百五十回～五百回程度が良いでしょう。

馬鈴薯

疫病の防除は掘り取り一週間前まで継続的に実施します。原採種ほでの枯ちようがおそい品種では、ウイルス病の後期感染を防止するため、収穫直前までアブラムシ類の防除をおこなってください。

食用、種子用いもの収穫は八月号の本紙を参照してください。

甜菜

■ 明年使用する床土の採取については八月号に登載しましたが、まだ採土していない場合はできるだけ早く採取して培養し保管するようにしましょう。

■ 褐斑病にはダコニール水和剤五百倍またはスズ日和和剤二百倍液を散布します。

なお、ヨトウガの発生がダラつく傾向にあるので発生状況をよく観察しながらオルトラン水和剤千倍液を早目に散布し、被害

の軽減につとめましょう。

畜産

乳牛の飼養管理 一度乳量が低下すると、その回復は容易ではありません。暑さや放牧草の生育鈍化対策のため十分な手当をしないと乳量が低下します。

分娩後の経過日数による生理的な乳量低下は当然ですが、それ以外の乳量低下は飼育者の責任です。乳量低下を最少限におさえるために次のことに注意しましょう。

① 放牧草の草生状況を見て必要な栄養分が十分とれるように採草地（二番草）との組合せによる牧区の調整、放牧日数の調整をおこないましょう。

② 放牧草の不足は青刈給与、乾牧草、サイレージ、ハイキューブなどで補うことも必要です。

③ 粗飼料の質を高め、組合せを上手におこなっても、粗飼料だけで栄養をとることは困難です。濃厚飼料を乳量に応じて個体ごとに飼料計算をして与えるようにしたいものです。

④ 施設や粗飼料確保量などと関係しますが、一年中サイレージを給与する方式が最も早道だと考えられます。しかし、この場合は、しっかりとった年次計画のもとに実施しなければなりません。

肉牛の飼養管理 八月から九月は季節の変化、特に昼と夜の気温差がいちじるしく、放牧草地ではクロバー類の生育が旺盛になります。すなわち豆科優占草地となりますので、放牧している肉牛の鼓脹症を防止するため、定時的に巡視するよう心がけましょう。

サイレージの調作 農家の皆さんはサイレージ作りのベテランです。しかし、ベ



猿別地区を通過する砂利トラによって道路の汚れがひどいため青空子供会では夏休み中は週1回、以後は月2回、お父さん、お母さんの協力のもと清掃に汗を流しています。



緑町第3公区の資源回収事業は順調にすすめられています、このほど集めた品物を保管する立派な小屋を建設しました。



去る5月に練内剣道スポーツ少年団が発足、週2回練習していますが、熱心な練習態度に指導の久保5段もびっくり。この練習にお母さん方も参加し、すがすがしい汗を流しています。

泉町公区の非行防止子供の集いが8月20日の午後7時から泉町公園で開催しましたが、200人をおえる親子が参加し、千葉防犯協会副会長のお話のあと映画と花火で楽しい一刻をすごしました。

このページに掲載した写真は、各公区または団体が実施した行事です。皆さんの公区その他で開催する行事を広報広聴係まで、ご連絡ください



町商工会主催の仮装盆おどりが8月16日に町民会館前広場で開催され賑わいました。なお、団体は十勝葉山電器、個人では尾野ヒサさん(南町)が優勝しました。



桂町公区では、健康な生活は体力づくりからと、毎週日曜日朝6時30分から「歩こう走ろう」運動を実施しています。



テランゆえの気のゆるみもあるかもしれませんが。今年はまだ一度初心にかえって良質サイレージの調製と危険防止に心がけください。良いサイレージを調製するための原則は次の通りです。

● 良い原料草の使用——サイレージ用ト

ウモロコシは濃厚飼料に匹敵する高い栄養の子実が豊富ですので、黄熟期になつてから収穫するようにしましょう。

● 水分の調節——水分が多いと排汁による養分や乾物の損失が大きくなります。水分は七〇〜七五%の黄熟期に収穫し調製す

るようにつとめましょう。

● 原料の細断と踏圧——細断はサイレージの密度を高め醗酵を促進させる効果があり踏圧はサイレージ密度を一層高めて不良な細菌をおさえて良い品質のサイレージをつくる役目をはたします。

● サイロの密封——サイレージは原料中の糖分を利用して乳酸菌を醗酵させて作るものですから、踏圧後はただちに密封しなければなりません。

以上のようなサイレージ調製の原則を守って良質なサイレージを確保しましょう。

住みよい町とするために

児童・生徒の応募作文より(1)

町の総合計画は、豊かで住みよい町づくりの基本となるものです。現在実施している総合計画は、昭和五十五年度をもって終ることになりますので、たゞいま昭和五十六年度以降十年間の新しい総合計画をすすめています。

町づくりの計画ですから、多くの方から意見をお聞きし、より良いものとするため努力していますが、そのひとつとして、町内の小中学校児童、生徒の皆さんから、「住みよい町とするために」と題して作文を募集いたしましたところ、各関係の先生のご協力によって、たくさん作品が寄せられました。

作品からみられる純粋な意見、希望などを今後の町政に役立てていきたいものと思ひますし、それは私も大人に対する提言として受けとめ大切にしたいものです。寄せられました作品のなかから十数点を選び、広報まくべつに継続して掲載いたします。

幕別中学校二年

田中由美子

私の住んでいるこの幕別町は、北海道の中でもよい町だと思ひます。小さいけれど公害もなく自然にもめぐまれていて、東京みたいなうす汚れた都市とくらべれば、この町は本当によい町です。

若い人は、こんな小さな町より都会に行きたいと思ひているでしょう。都会に住んでいる人は「青空」というものを見たことはないでしょう。家だつて高層ビルにかこまれて庭という庭はないと思ひ

このくずなどが捨ててある。しまいは、こわれた自転車などがおいてある。そんなことでは住みよい町とは言えない。そのてん幕別町は住みよいと思ひます。

小さな町でも大きな町でも、互いにたすけ合い、互いに協力をしてあげばよい町をつくれると思ひます。都会では近所付き合いなどがあまりないようですが、この幕別町は、町長を中心に近所付き合いもよく、いつでもどこでも話しのしやすい町だと思ひます。

でも、一つ気になるのは、大人は子供の見本です。ですから、大人がちゃんと守らなければ、子供はだんだん悪くなつていきます。そういうことに気をつけていけばこの幕別町もりつぱな町になると思ひます。私は、このりつぱな幕別町が好きです。

一人一人が気をつけて生活すれば世界一りつぱな町になると思ひます。私も一つ、一つに気をつけていききたいと思ひます。

幕別中学校一年

三川伸

すみよい幕別町にするために、どのような事をすればいいのだろうか。ぼくは、ついきいきん、自分の家の庭のていれをし、その時出たゴミを、いなし別のゴミ捨場までもつていった。もちろん再利用ができない物だ。

そのゴミ捨場に行くと、まだつかえそうな物が沢山出てきた。ななもつたいな事をするのでろろうと思つた。幕別をよくするにはまず、さつきのような、もつたいな事をしない事だと思ふ。

次に、幕別には町立病院がないので、町立病院をたてたらいいと思ふ。そしたら、重病人が来ててもだいじようぶだからだ。

あと、町に総合体育館、スケート場かプール、フィールドアスレチック、ハイキングコースなど、気軽にスポーツのできる所を作つてほしいと思ふ。それがちやくちやくと進んだら地下鉄を作り、帯広、幕別間をいききたら、どんなに時間が短縮する事だろうと思ふ。そのおまけに、地下の道路をほり、地下は自動車、上は人間と決めればいいと思ふ。そうすれば交通事故が全々なくなるだろう。

ついでに電線を地下に引いてしまえばいいと思ふ。そうすれば、電線がきれいなしんはいも、ほとんどないし、正月の時のたこあげも電線を気にしなくてもいいからだそうなれば、いいなあと思ふ。

自動車が下へ行くなら人間は上へ行くことと思ふ。まず、天文台をたて、児童会館を作り、そこにプラーナリウムをおいて、幕別町民に、宇宙にかんしんをもつてもらうのだ。

今までに、のべた事全部というわけではありませんが、ぼくたちが

が大きくなるまでに、四分の一ができていけば、それだけでも幕別は変ると思ひます。公害もなく、また、交通事故、自然はかい、みんななくなればいいと思ふ。

相馬小学校六年

相馬真弓

一つ、ただ一つ私は幕別町に大きな不満を持っています。その不満と言うのは自然です。現在の人々が頭の中だけでえがいている自然を、実際に、この町にもつとも増やしていきたいのです。

おじいちゃん、おばあちゃん、子どもころにあつた自然、それがまた再び、私たちの手にもどつて来てくれたら、どんなにこの町が変つていくでしょう。

青くすみきつた空、土のにおいのある大地、耳をすませば鳥の鳴く声だけがひびいている山、風にさやさやとゆれ動く木、夢でも見ないかぎり、とても今のこの町にこんなめぐまれた環境が、もどつてくるはずがありません。今のままの状態がこの町が進んでいくなら、たぶん、こんな自然も、今以上に、どんどんと遠ざかつていつてしまうのではないでしょう。やはり、今、この町には一番自然が大切なのです。

もちろん、今のこのくらしは、むかしに比べると、ほんとうに便利になりました。遠くへ行くので

も車があるし、水だつてじゃ口をひねればすぐでてるのですから：でも、それと引き換えに、むかしのような自由な場所が無くなりました。美しい景色が少なくなり、私は「むかしと今の、この幕別町のどちらをとるか」と聞かれたとすれば、きつと、なやみもせずに、すぐ「むかしをとります」とこたえるでしょう。

現在のこの町を考えてみてください。かたいコンクリートの地、次々にならぶ住たく、ガーガーと走りちらすたたくさんの車、ゆだんをしていると、命さえあぶなくなるのです。

子供の遊ぶ場所といえば、せまい公園だけ、まるでコンクリートのきゆうくつな、はこの中にとじこめられているような現在の生活これじゃあ、おもいっきり走り、あせをながすことも自由にのびのびと毎日をするすこともできないにきまつています。満ちあふれた美しい自然の中で育つたむかしの人々のように、自由な場所を現在の人たちみんなが、ねがっていると思います。

でも、とても今のこの町から自然をつくっていくなど不可能といつてもいいかもしれせん。ただこのことが、ひっそりと、この幕別町の人々の頭の中にのこつていたとしたら、将来、もしかすると想像の自然が、想像じゃなくなる

る時がくるかもしれせん。いやきつとくるでしょう。その時は、私もせいっぱいの力をだし、この幕別町が自然に満ちあふれた美しい町になるように、がんばつていきたいと思っています。

札内南小学校六年

上平 有美

私は、幕別町を住みよい町にするには、もっと心のふれ合いを多くすればいいと思います。そのわけというのは、例えば、朝、道で会つたら「おはよう」とか「おはようございます」などというあいさつは、たとえ知らない人であっても、しなければならぬ礼儀なのに、まるで「私とあなたとはなんの関係もありません」といわんばかりツンとそっぽをむいて、ずんずん行つてしまふのです。

私は先週の日曜日、見知らぬおじさんに「おはようございます」と声をかけてみました。すると、そのおじさんは、だまつて歩いていきます。私は、きこえなかつたのだと思つて、もう一度「おはようございます」と言いました。すると、そのおじさんは、こちらをふりむきギロツと私をにらむと、そのまま歩いていってしまひました。その時、私はもうれつにはらたが立つて、そばにころがつていた空カンをふみつけてグシャグシャ

にしてしまいました。そして、その日一日じゆう気分がすぐれませんでした。

あんな人がふえると、やがて幕別町全体が暗くつめたたい町になつてしまふのではないかと思います。しかし、幕別町の人達全員が努力すれば、明るく楽しい幕別町になると思います。

私は「住みよい」ということは自然があつたり豊かな土地があるだけでなく、そこに住む人々の心もきれいでなくてはならないということ、幕別町の人々に知つてもらいたいと思います。

途別小学校五年

高橋 恵

わたしが一階だての、せまい保育所にいた時は「学校は広くて大きいし、二階だてで、いいな」とつくづく思つていた。でも、今では「途別小学校は古い」と思つている。大きい町や市には、新しい学校が次々と建てられていく。あんなに人数の少ない古まい小学校でさえ、今では新しくなつていく。それなのに、どうして、わたしたちの途別小学校は古いのか。

わたしは「新しい南小学校か古まい小学校にうつせ」といいたいのではありません。新しい学校にしてほしいのです。こう思つている人は、たぶんわたしだけではないと思う。だから「わたしたちの

途別小学校を新しく建て直してほしい」という事をいいたいのです。

それと、買い物などに出て行くとき、横断歩道が少し歩いた所にあるのに行かないで、横断歩道じゃない所を「バツ」と通りすぎて行く小学生の人がいるので、自分のために、交通事故を起こさないために、ちゃんと横断歩道などをわたるようにしてほしいと思う。こういう事などの道路のわたり方をきちんと守つてほしい。

それから、どこでも、たいていちらばつている「ゴミ」を、なんとかしたいものです。一番目だつのは「タバコ」のすいがらや「あきかん」です。こういうわたしたちも注意しなければならぬ事が、

たくさんありますが、これはたしかに悪い事だから「やくそく」を作つて、自分でいいしまつのし方ができるようにしたらいいと思う。その「やくそく」は

一、車には必ずゴミ入れを入れておく事。
一、食べたり飲んだりした後のふくろやあきかんは、まわりにゴミ入れがなければ、持つている人れものなどにゴミを入れる。
などというきそくを作ればいと思う。

このような事に気をつけて、その事をみんなが守るようにすればこの、わたしたちの幕別町は、だんだん良くなつていくだろう。と思う。



これでは子供たちの模範となりません

日暮れが早くなります

秋の交通安全総ぐるみ運動
9月21日から全道一斉に展開



対向車の発見が遅れがちとなります。特に歩行者の場合は、身につ

九月二十一日から三十日までのあいだ「秋の交通安全総ぐるみ運動」が展開されます。秋は日が暮れるのが早いので歩行者や

ける衣類が色物となるため夜間での発見は遅れ、これが事故に結びつく原因ともなります。



自転車に乗る前に

安全点検

▲安全運転を呼びかける商工青年部の皆さん
落し、歩行者、自転車、特に子供と老人には十分にご注意ください。
昭和五十三年十一月九日に千住地区で交通事故が発生し、中学生の尊い命が失なわれて以来、交通事故死ゼロを重ね、九月五日で三百日になりますが、車どうしの衝突事故は毎日のように発生しています。交通ルールを守り、事故のない、すがすがしい秋を万喫したいものです。

また、秋の行楽シーズンのため遠出をすることが多く、無理な日程からくる疲労も事故の大きな原因ですので遠出の際はスピードを

通勤その他に自転車を利用する方が多くなりました。自転車は省エネルギー、健康と二石二鳥の乗

十一月に懐しの対面

三十四年前に援農で分宿した学生と受入れ農家の皆さん

今から三十四年前の昭和二十年五月から九月ころまでのあいだ、小樽経済専門学校（現在の小樽商大）の生徒が町内の各農家に分宿し援農に従事しました。

当時の皆さんは、卒業後、各界でそれぞれ活躍していますが、青春のひとときをすごした幕別で、当時の農家の皆さんにお会いし、一夜語りあいたい、十一月三、

▲シートベルトの着用を呼びかける農村青年の皆さん

四の二日間、幕別温泉ホテルに集合することになり、現在、準備をすすめています。
昨年からの調査で、二十三名の方と分宿した農家のお名前はわかりましたが、町内には、まだ多くの方が分宿しています。当時の学生さんのお名前をご存知の方は、九月末までに役場町民課広報広聴係まで、ご連絡ください。

紺授褒章と褒状を伝達

角田さん（札内）と三企業に

り物ですが、身近かな乗り物だけに、ブレーキやハンドルが多小おかしなくても、つい乗ってしまい事故をおこすことが多いようです。自転車に乗る前に、かならず安全点検をしましょう。
なお、自転車のブレーキが故障してしましたら絶対に乗ってはい

けません。また、尾灯や反射材のついていない自転車は夜間乗ることとは出来ませんし、二人乗りも禁止されています。
このほか、雨ふりにカサを差したり物を手やハンドルにさげたりして乗ることも危険ですので、やめましょう。

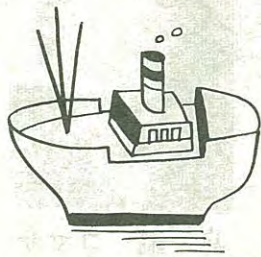
札内中央町の角田政平さんにたいする紺授褒章伝達式が、八月十四日に自宅において、とりおこなわれました。（写真）

特別養護老人ホーム札内寮に指定寄付した次の企業にたいする褒状伝達式が、七月二十七日に役場応接室でおこなわれました。

角田さんは札内地区の皆さんが永年にわたって望んでいた札内駅人道こ線橋建設促進のため、建設資金の一部として百万円を寄付したため。

- ▼七百万円―株式会社小甲建設（代表取締役・小甲義孝氏）
- ▼五百万円―大和工業株式会社（代表取締役・片山唯雄氏）
- ▼三百万円―扶桑電設株式会社（代表取締役・片山佳恵氏）





こどもの船

国際児童年にちなんで八月九、十の二日間「こどもの船」が釧路港を出発、海の上で研修をおこないました。短かい期間でしたが、これに参加した幕別の小学生二十名の貴重な体験を、写真で紹介いたします。



参加者のお名前

- ▼班長・中条静子(町教委)
- 小山直紀(相川小) 平野道大(明倫小)
- 杉本明子(古舞小) 木村由貴子(白人小)
- 神山和寿(札内南小) 藤田大志(幕別小)
- 佐藤勝代(新和小) 竹重順応(札内中)
- 関口哲也(札内中) 大本早苗(途別小)
- ▼班長・渡辺貞治郎(幕小教員)
- 小山秀樹(幕別中) 永沢裕子(幕別中)
- 上田浩子(幕別中) 安田寛(幕別中)
- 沖博美(札内中) 渡辺好(札内中)
- 美濃寛士(糠内中) 長谷川和美(糠内中)
- 田村勝徳(駒畠中) 新田裕美(駒畠中)

写真説明

記念撮影(男性)	記念撮影(女性)
先生の指導を受けてスケッチ	閉会式で...
操だ室も見学しました	船内の食事風景

いつまでもお元気で

今年の敬老会は9月18日に幕別町民会館で19日札内福祉センター、20日糠内公民館でそれぞれ開催します。

昨年は75歳以上の該当者は523人でしたが今年では586人と63人もの増加、また、88歳の米寿を迎えた方も前年より15人も多い20人となっています。

町では昨年の敬老会から米寿を迎えた方々に記念のカラー写真を贈っていますが、今年も敬老会の席上、差しあげることになっています。今年、米寿を迎えた方は次の方々ですが、片原フナさん(途別)と末永辰次さん(中央町)は、都合により写真を撮影することが出来ませんでした。(敬称略)



佐藤 與助
(美川)



土田 シケ
(寿町)



真鍋 コマサ
(緑町)



古酒 イシ
(新町)



二川 ヤイ
(幸町)



時田 たつ
(西和)



磯部 なみ
(千住)



梅田 ヨ子
(あかしや町)



前田 うの
(中央町)



大岡 くま
(栄)



前田 他七
(栄)



柴田 幸太郎
(途別)



高田 与次郎
(昭和)



畔木 宗太郎
(特養)



浅川 きみよ
(特養)



北構 クエ
(特養)



小笠原 栄作
(特養)



松原 はる
(特養)

今年も活躍豆カッパ

幕別スイミングスクールが開校したのは昨年ですが、開校と同時に十勝管内はもとより全道の各種大会で好成績をおさめ、全道的に「まくべつ旋風」を巻き起しましたが、今年も好タイムを出し全道から注目されています。



2位、3位に入賞した佐藤さんと堀口さん

一九七九年度北海道ブロックジュニアオリンピック夏季水泳大会が去る七月二十二日函館市民プールで開かれ同スクールからも八名が参加しましたが、この大会で佐藤みゆきさん（緑町、十一歳）は女子五十級自由形で三十四秒四の大会新記録で二位入賞、また、堀口静枝さん（緑町、十一歳）は女子五十級背泳ぎで四十二秒七の好タイムで三位に入賞しました。

このように幕別の選手の活躍は同スクールの適切な指導と天候に左右されずに泳ぐことができる温水プールがあることといえます。いま、同スクールには三十三名の会員があり、九月九日に行なわれる全十勝大会にむけ、練習を行っています。

設備資金800万円に 町の中小企業融資

町では昭和五十三年六月に中小企業融資に関する条例を設け、運転資金三百万円以内、設備資金五百万円以内、低工法の適用を受ける資格がある

個人または法人には一千万円以内を融資していましたが、その後社会および経済の変動から設備資金の増額を検討、八月十日の臨時第四回町議会で融資限度額を八百万円に改正しました。なお、償還期間の八年以内、据置期間の一年は、今までと変わりません。融資を希望する方は役場開発商工課か幕別商工会に、ご相談ください。

ハミで連続特選

吉田栄逸さん

錦町の吉田栄逸さんは、北海道新聞社主催第十一回全道アマチュア、ハミコンクールで特選に入選、四年連続の入選となりました。今回応募した作品は、「星霜、幕別小学校八十年のあゆみ」と題した作品で、幕別小学校の校舎改体を中心に幕別小学校の歴史と思い出を昔のフィルムを交えながら編集した作品です。

吉田さんは、ハミ歴十年というベテラン。これまでに、町の歴史など五十編もの作品を編集しています。

「趣味は、読書だったのですが、写真と違い、動いて、声や音も出せる。そして、ストーリーに合せ編集し、観ることが出来るハミを始め、すっかり虜になりました。」と語る吉田さんは、自宅に立派なスタジオを持つほどのマニアです。



こんにちは

書道で連続最優秀大賞

田村美穂子さん

寿町の田村美穂子さんは、全日本書芸コンクールでみごと最優秀大賞を受賞。

美穂子さんは、昨年同コンクールで最優秀大賞を受賞しており、二年連続の受賞となりました。

美穂子さんの先生は、お母さんです。物心がついた頃、いつも筆を手にして文字を書いているお母さんのそばでいたずらに筆を手にしたのが書道を初めるきっかけで、毎日三時間は筆を手にするそうです。

「学校の勉強では、国語が好きです。将来は、書道の先生になりたい」と話す美穂子さんは幕小の三年生。

スポーツは水泳が得意。幕別スイミングスクールの会員で、昨年、岩見沢で行なわれた水泳大会では女子バタフライ五十級で二位に入賞したこともある活発な女の子です。



プロパンガス

安全な取り扱いを

プロパンガスは熱量が高く、大変便利な燃料ですが、取り扱いを誤ると大きな事故となります。各地で重大事故が発生し、その都度、プロパンガスの危険なことが新聞などで報道されていますが依然として事故はなくなりません。今一度、安全な取り扱いに注意しましょう。

●容器的置き場所は屋外でなければなりません。ただし、十キ以下の容器に限り屋内でもかまいません。その場合でも閉めきつた場所やストーブの近くでは危険です。ので置かないようにしましょう。

●屋外にプロパンを取りつけるときは販売店にまかせ、絶対に自分で取りつけないことです。販売店ではガスが洩れているかどうか調べてくれます。また、古いゴムホースは新しいものと取り替えてもらいましょう。

●プロパンガスを使い終わったら必ず元栓をしめ、外出や寝る時に、もう一度確かめましょう。

●ガスは空気より重いので低いところにたまりやす。洩れた時は容器の元栓をしめ、戸や窓を開けて床にたまったガスをホウキではき出しましょう。

ガス中毒になった場合

▼水や薬を飲ませない ▼元栓をしめ戸や窓を開放す ▼患者をできるだけ新鮮な空気のところへ移し、呼吸、脈はくを調べる、呼吸がなければ人工呼吸をはじめ

▼他に人がいなければ大声で近所の人に応援を求め救急隊を呼ぶ。

なお、夜中にガスが洩れたのに気がついても暗がりだからと電灯をつけないでください。爆発をおこします。

(幕別消防署)

行方不明者相談所を開設します

道警では、今年も「行方不明者相談所」を開設します。十勝の場合には九月十一日と十二日の二日間午前九時三十分から午後四時まで帯広警察署で受付けています。相談される方は次のことを係員にお

篤志寄付者のお名前

町社会福祉協議会へ：
▼幕別民謡会では全道民謡大会開催を記念して九千円 ▼幕別料

申し出ください。
行方不明になった人の身体特徴(手術の痕、ほくろなど)、義歯血液型、家出当時の服装、写真など調査の手がかりとなるもの。

なお、警察では、個人の名誉と秘密は厳守しますので、気軽に相談してほしいと望んでいます。

甘い言葉に注意

夜道のひとり歩きは危険です

チカンは夏から秋にかけて最も増加します。警察ではチカンの被害にあわないよう注意しています。

甘いことばに気をつけましょう
見知らぬ男から「車で家まで送ってあげよう」などと誘われてもきっぱりと断わりましょう。

夜道のひとり歩きは避けましょう

夜道は明るいところを選び、夜おそくなるときは家族の人に迎えにきてもらうかタクシーを利用するようにしましょう。

防犯ブザーを所持しましょう

防犯ブザーは、あなたの身を守るガードマンです。万一に備えて所持するようにしましょう。

家でも外でも身なりはきちんとしましょう

家に帰った気のゆるみで下着のままだったり、外出する時の「刺激的な服装」はつつしみましょう。しっかりと戸締りをしてから休みましょう

家の中、特に浴室、便所、寝室などを外からのぞかれないようにするとともに、寝るときは必ず戸締りを確かめましょう。

幼児や小学生をねらうチカんに注意しましょう。

子供さんには、知らない人から声をかけられても相手にならない

日曜当番石油スタンド

幕別地区	
9月16日	笹井金物店 スタンド
23日	幕別興業 スタンド
30日	幕別農協 スタンド
10月7日	堂前工務店 スタンド

札内地区	
9月15日	札内農協 スタンド
16日	山崎石油 スタンド
23日	三ツ輪石油 スタンド
24日	坂本石油 スタンド
30日	札内ツバメ石油
10月7日	宗岡石油 スタンド

資源回収十五公区に

資源回収をおこなっている公区が多くなりました。現在確認されているのは次の十五公区です。資源回収している公区がありましたら町民課広報広聴係にご連絡ください。

- 〈幕別〉 緑町一公区
- 緑町二公区
- 緑町三公区
- 旭町二公区
- 旭町三公区
- 相川東公区
- 相川北公区
- 新町公区
- 〈札内〉 新北公区
- 青葉公区
- 桂町公区
- 桜町公区
- 泉町公区
- あかしや南公区
- 楳内公区

よう普段から言い聞かせておきましょう。

被害にあったときは、ただちに届けましょう

チカンの被害にあつたとき、見たととき、聞いたときは勇気をもって警察にとどけましょう。

帯広地方石油業協同組合幕別支部では、灯油が切れ、いまずぐ補充してほしいと依頼があつても、補充出来ない場合もありますので注文は必ず二、三日前にしてほしい、と望んでいます。